



※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 人の転落防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・ベランダ部などへの取付けは、足掛りや通り抜けにならないよう面材を取付けてください。
- 小窓枠の落下防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・取付けは必ず指定のねじを使用し、必ず柱・間柱・窓台・まぐさなどの躯体にねじ止めしてください。
- 面材の落下防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・小窓枠への下穴は、φ3.5のドリルを使用してください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・内水切りと小窓枠の取合い部と内水切りのコーナー部にシーリング(別途手配)をしてください。
 - ・外壁材と小窓枠の取合い部にシーリング(別途手配)をしてください。
 - ・小窓枠を取付け後、小窓枠・内水切りと躯体の取合い部に防水テープ(幅75mm以上、別売り)を張ってください。
 - ・防水テープと枠の納まりについては、「防水テープ取付け説明書」を参照してください。
 - ・開口部の周りは、建物の工法、求められる性能、立地条件などを考慮して適切な施工を行ってください。

■取付け上へのお願い

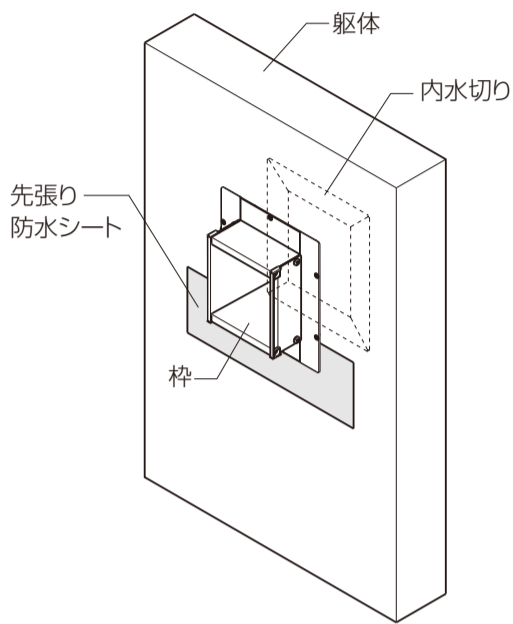
●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

■梱包内容

<p>枠</p> <p>内水切り1個 (組立て完成品)</p> <p>枠1個 (組立て完成品)</p> <p>皿タッピンねじ(1種)φ4×35 18本</p> <p>取付け説明書(本説明書) 1枚</p>	内側取付け用面材(オプション)	
	パンチングパネル面材	縦格子面材
	<p>面材1個 (組立て完成品)</p> <p>丸皿タッピンねじ (2種)φ4×10 4本</p> <p>※外側に取付ける場合には、縦10mmを現場切詰めしてください。</p>	<p>面材1個 (組立て完成品)</p> <p>丸皿タッピンねじ (2種)φ4×10 4本</p> <p>※外側に取付ける場合には、縦10mmを現場切詰めしてください。</p>
	外側取付け用面材(オプション)	
	ラフィーネ鋳物面材	鋳物面材
	<p>面材1個 (組立て完成品)</p> <p>丸皿タッピンねじ (2種)φ4×10 4本</p>	<p>面材1個 (組立て完成品)</p> <p>丸皿タッピンねじ (2種)φ4×10 4本</p>

■取付け順序

1 枠の取付け



■取付け詳細

▲注意

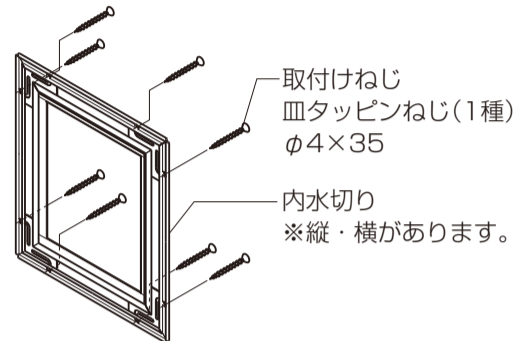
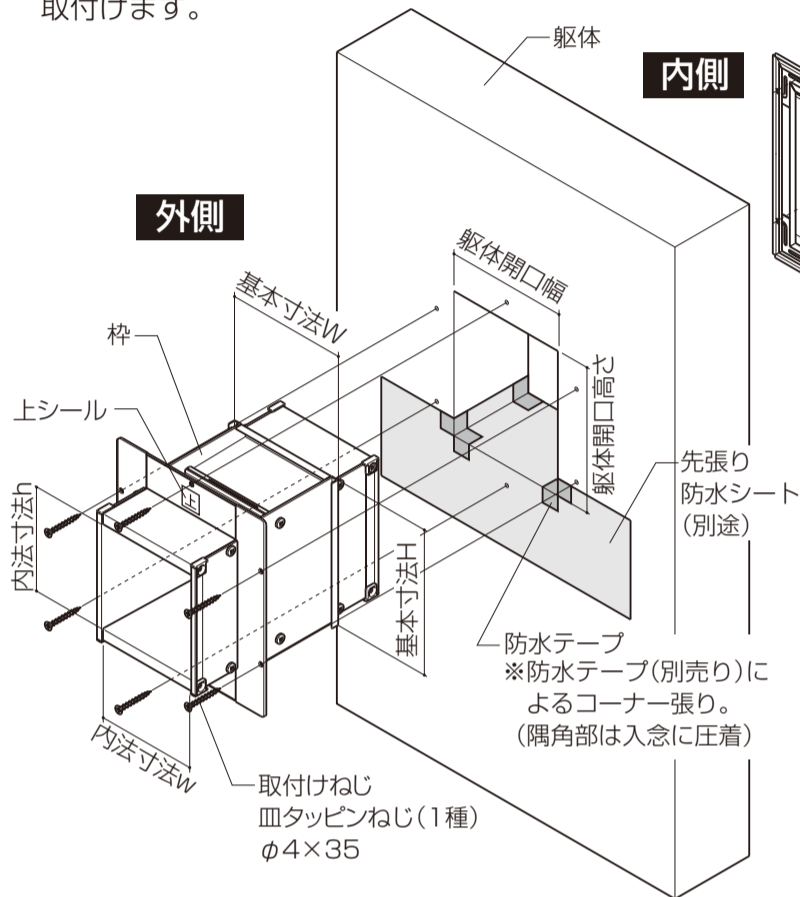
●開口部の周りは、建物の工法、求められる性能、立地条件などを考慮して適切な施工を行ってください。適切な対策が行われないと、漏水の原因にもなりますのでご注意ください。

●ここに掲載している防水施工は透湿防水シート後張りタイプの参考例です。

1 枠の取付け

- ①枠を躯体の外側から取付けます。
※「上」シールを上にしてください。
- ②内水切りを内側から枠にはめ込んで取付けます。

●お願い
●内水切りの取付け
※部材のコーナーが開かないようにしてください。
※4周が均等に枠に当たるように取付けてください。



■開口寸法表

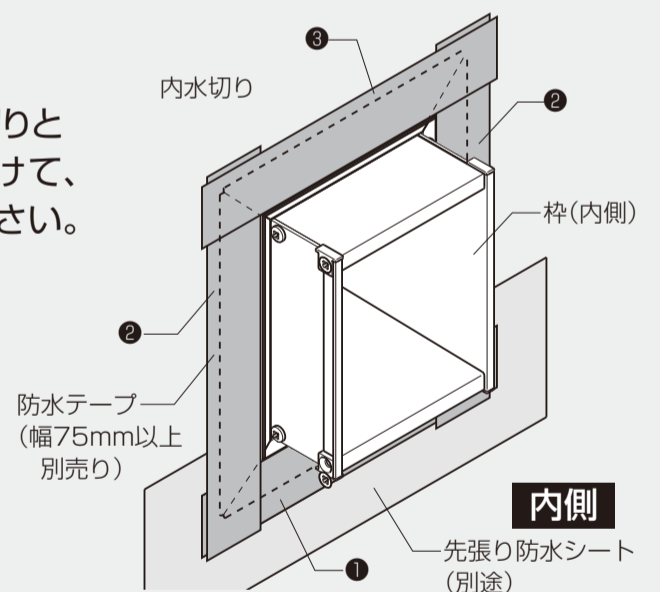
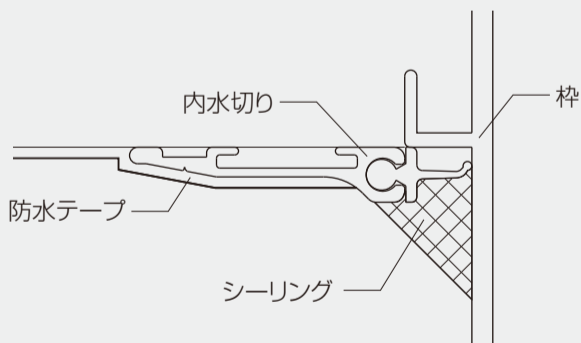
	内法寸法 w	基本寸法 W	躯体開口寸法(参考)
幅	100	116	126
	150	166	176
	200	216	226
	250	266	276
	w	w+16	w+26
高さ	内法寸法 h	基本寸法 H	躯体開口寸法(参考)
	100	140	150
	150	190	200
	200	240	250
	250	290	300
	450	490	500
550	590	600	
	h	h+40	h+50

▲注意

※防水テープの張る順序：①→②→③

(重なり部分はハクリ紙をはがして張る。)

●防水テープの重なり部分および枠・内水切りとの張り合わせ部分は十分に強くこすりつけて、ピンホールが生じないように注意してください。

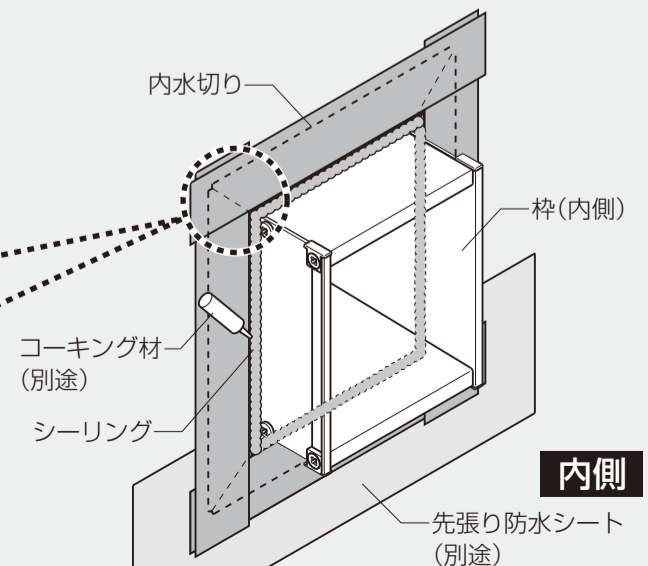
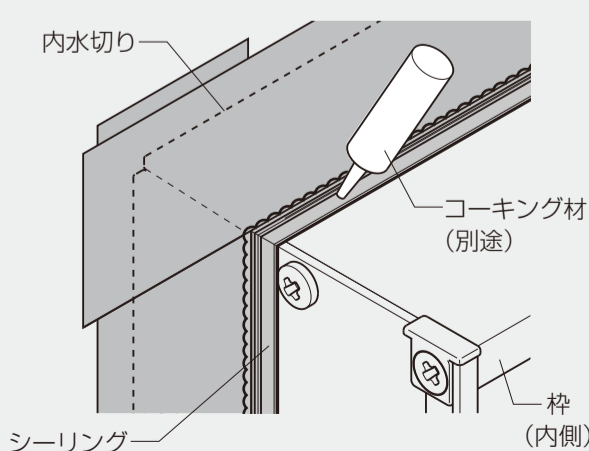


●枠と内水切り取合い部は、必ず全周シーリング(別途)をしてください。

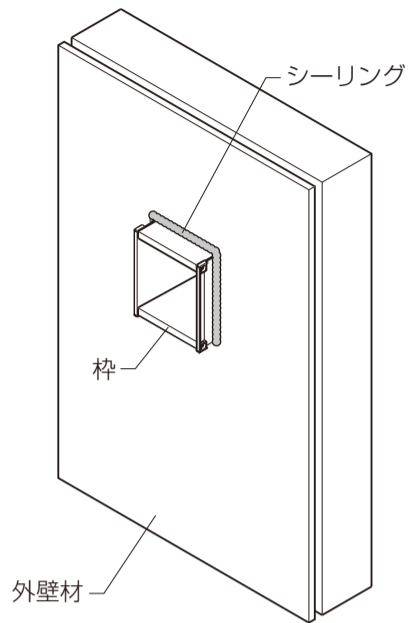
●内水切りのコーナー部(部材の突き合わせ部)もシーリング(別途)をしてください。

※漏水のおそれがありますので、ピンホールが生じないように注意してください。

■シーリング詳細図



2 外壁材小口の防水処理と開口部周辺のシーリング



2 外壁材小口の防水処理と開口部周辺のシーリング

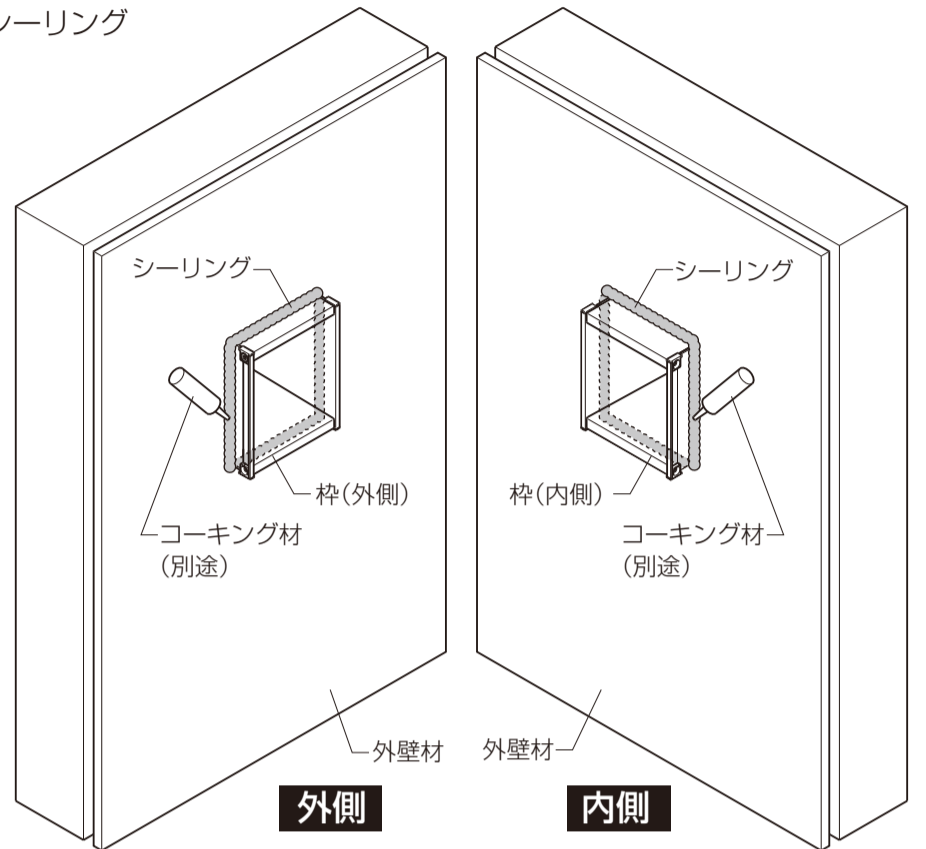
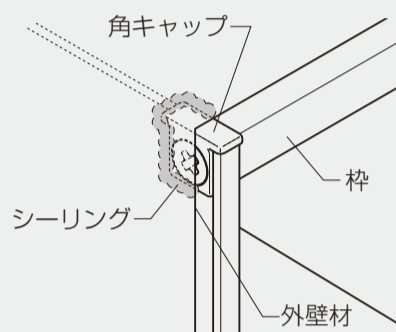
- ① 外壁材小口にはシーリング前にプライマー(別途)を塗布(シーリング部分)してください。
※プライマーは外装材およびコーキング材のメーカー指定品をご使用ください。
- ② 外壁材小口と枠の間にバックアップ材を充てんした後にシーリングしてください。

【参考】

- 枠とサイディング端部とのクリアランスは10mm以上を目安とします。(日本シーリング工事業協同組合連合会では、幅:10mm、深さ:8mmとしています。)

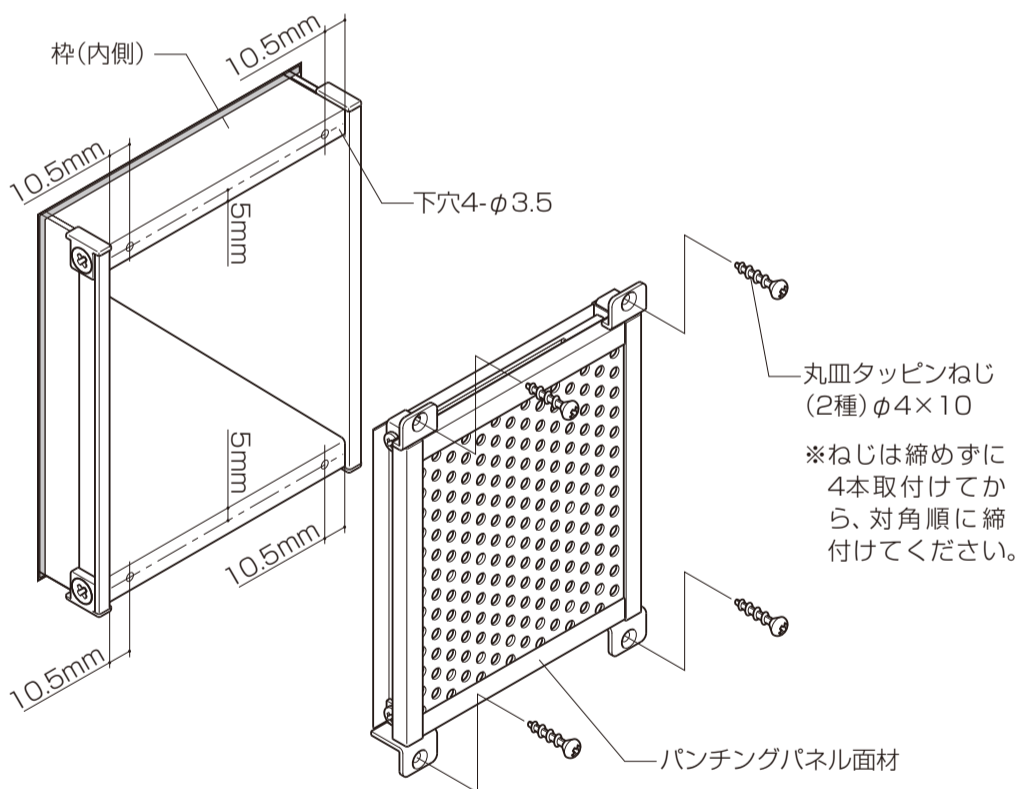
▲ 注意

- 外壁材が角キャップにかかる場合は、角キャップの裏側にもシーリングしてください。

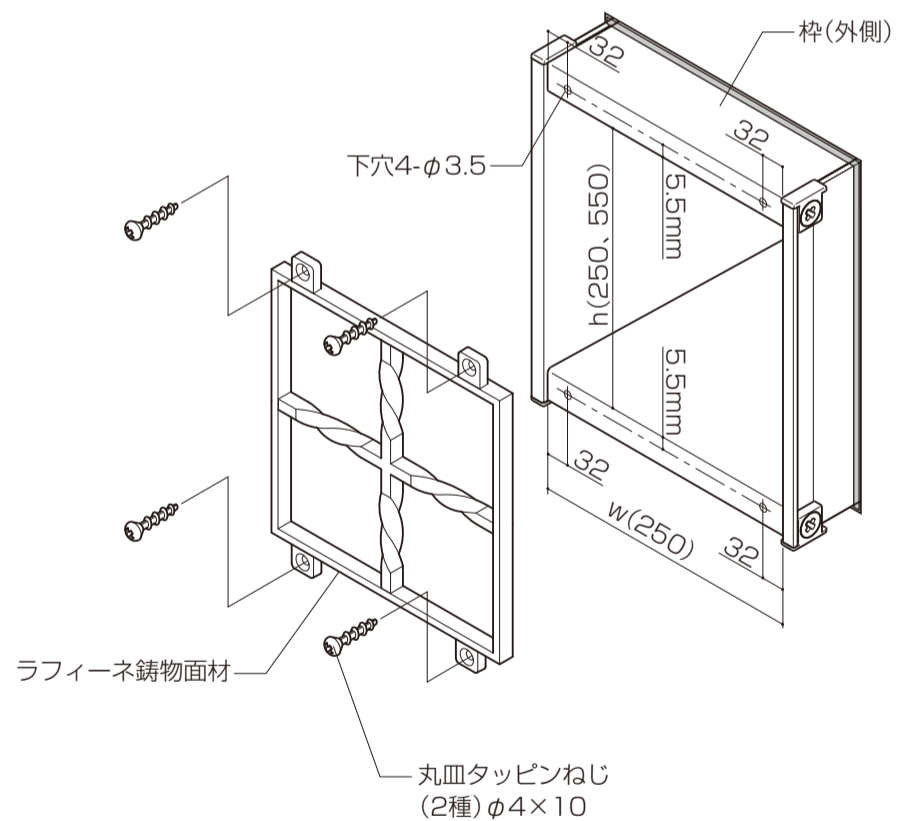


■ 面材の取付け

■ パンチングパネル面材・縦格子面材の取付け(枠内側)

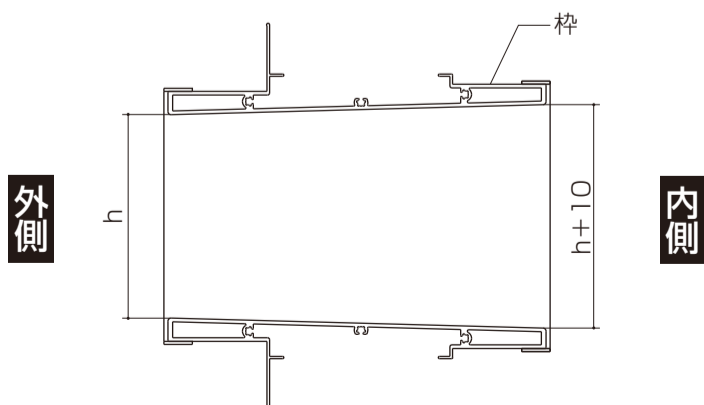


■ ラフィーネ鋳物面材・鋳物面材の取付け(枠外側)



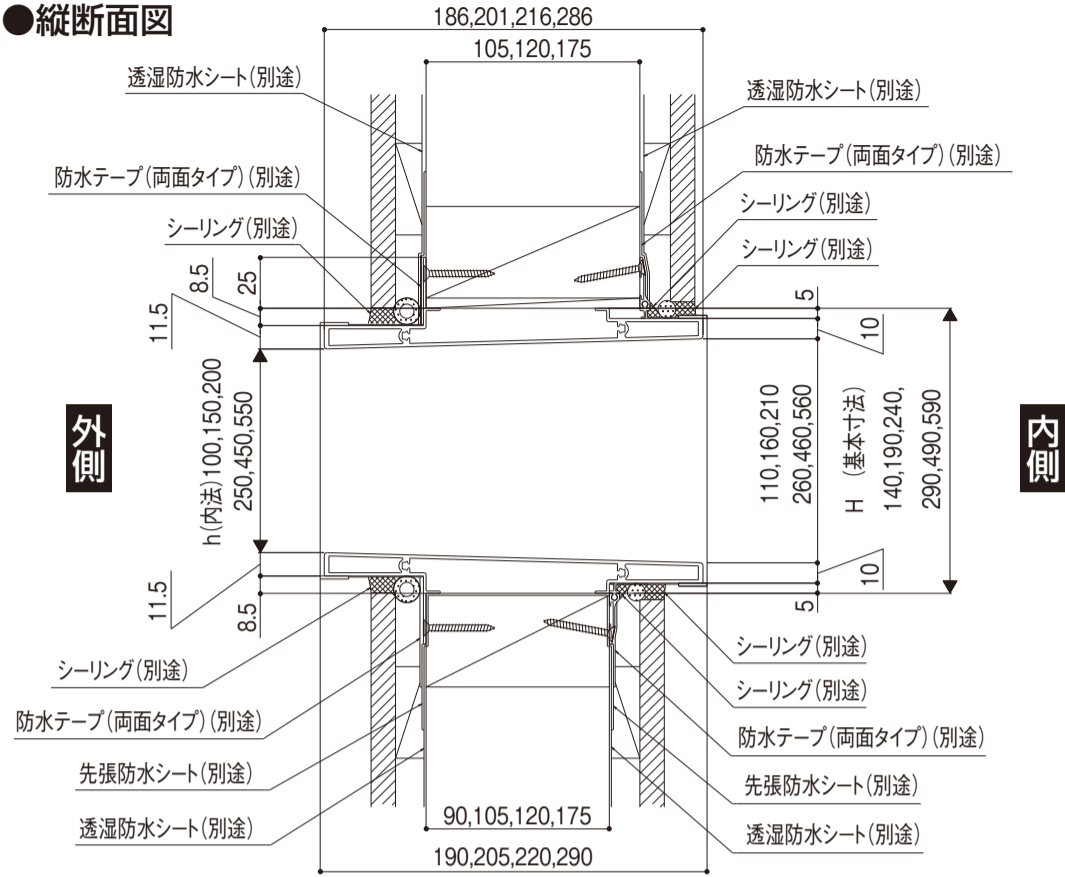
■ 枠の外側に面材を取付ける方法

- 面材の高さを10mm現場切詰めしてください。



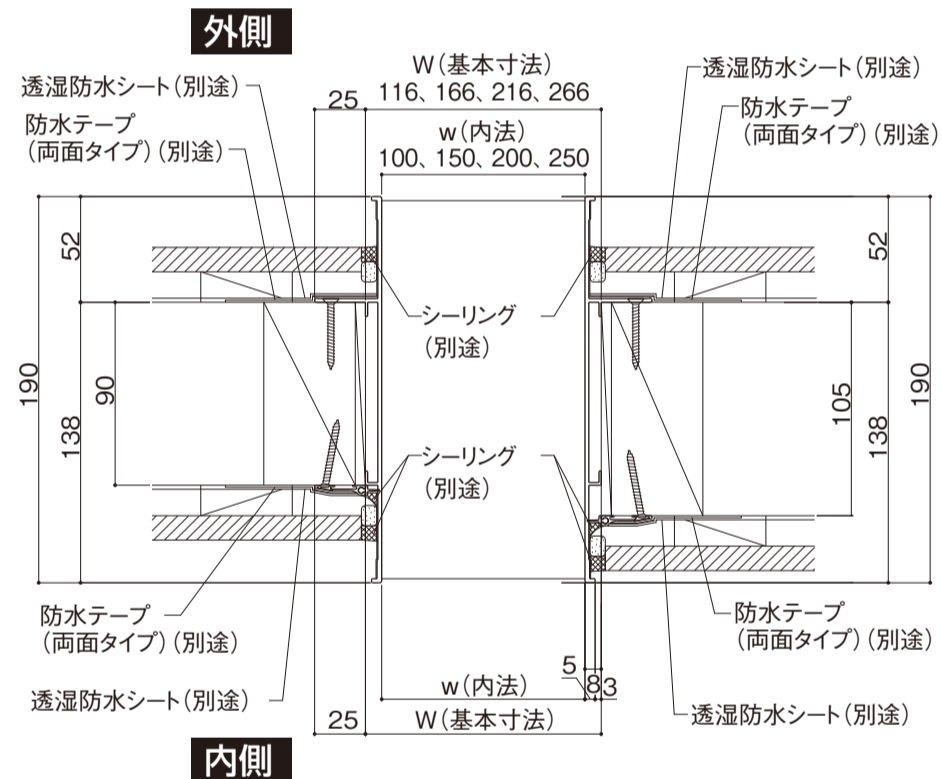
■納まり図

●縦断面図



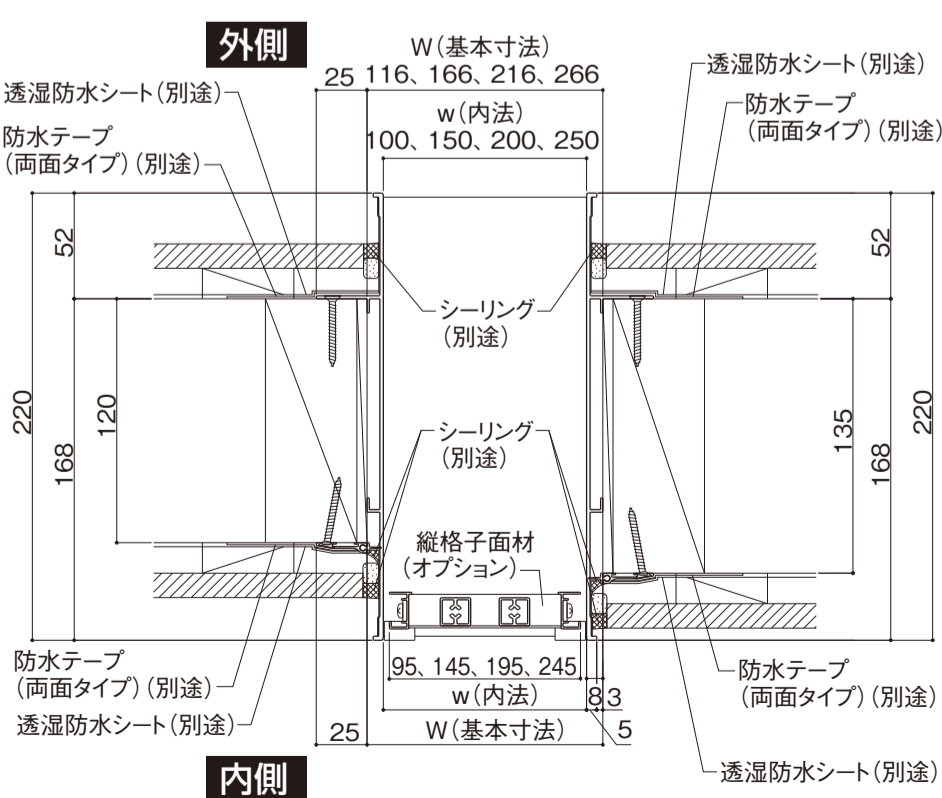
●横断面図

■見込み190タイプ



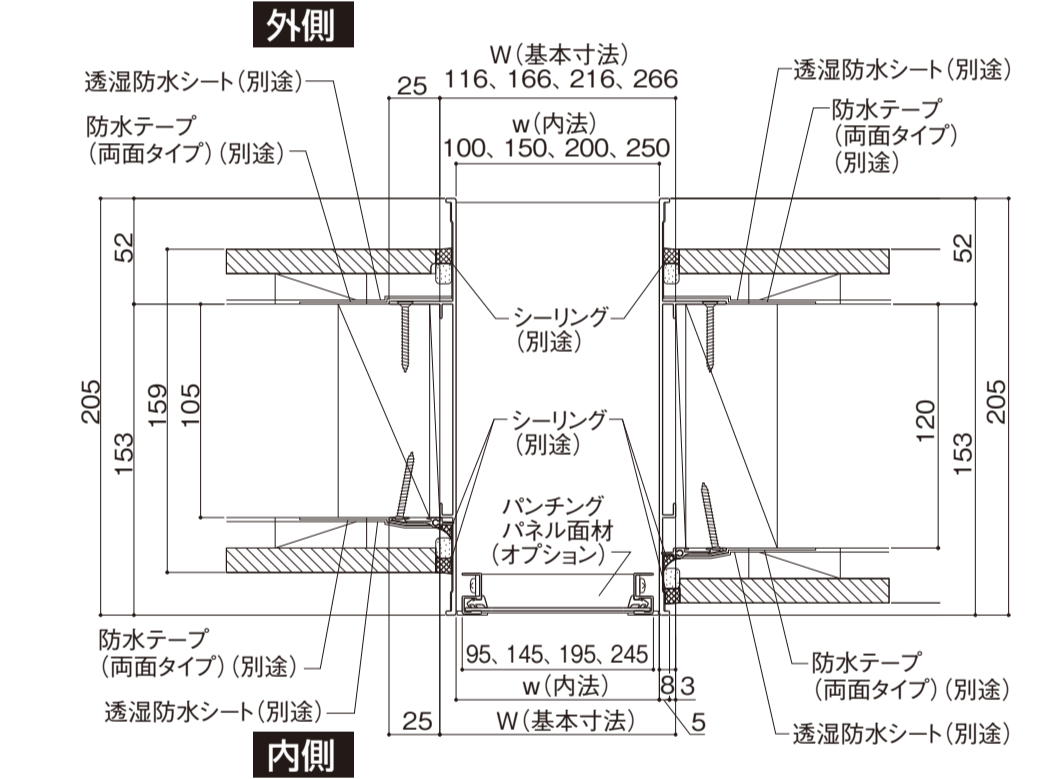
※本図は間柱見込み寸法が左は90mm、右は105mmの場合を示します。

■見込み220タイプ



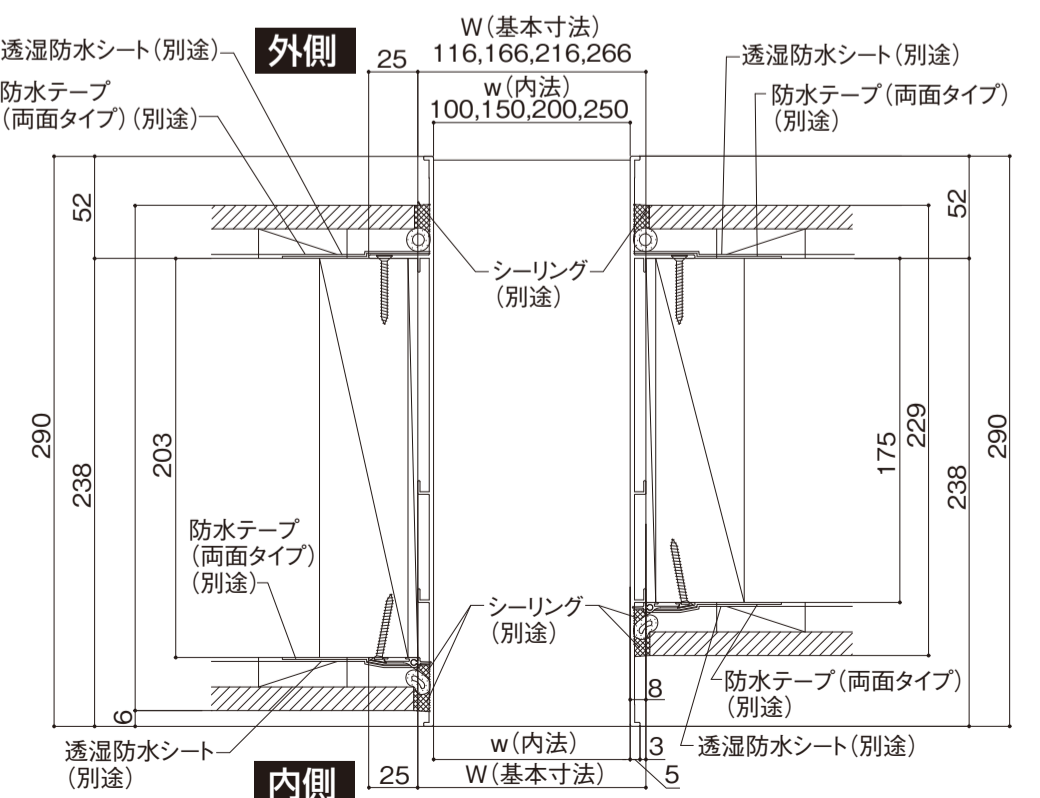
※本図は間柱見込み寸法が左は120mm、右は135mmの場合を示します。

■見込み205タイプ



※本図は間柱見込み寸法が左は105mm、右は120mmの場合を示します。

■見込み290タイプ



※本図は間柱見込み寸法が左は203mm、右は175mmの場合を示します。